平成29年度 寄附金会計並びに機構事業のご報告③

事 業 名:列島縦断「防災・減災公開講座」in 仙台

主 催:特定非営利活動法人日本防災士機構

共 催: (一財) 東北地方郵便局長協会、

特定非営利活動法人防災士会みやぎ

後 援:仙台市

開催:平成29年9月7日(木曜)13時~15時30分

参加者:約340名(防災士、市民)

会 場:仙台国際ホテル 2階 平成(宮城県仙台市)

講師:齋藤徳美(岩手大学名誉教授)

発 表:鈴木博行(防災士会みやぎ理事)

田 中 勢 子 (防災士会みやぎ元支部長)

武 藤 元 (鍬ケ崎郵便局長)

事業内容: 当機構では、防災士へ最新の防災情報を提供すること、国民にわかりやす

い防災啓発を行うことをめざし、社会貢献事業の一環として「防災・減災

公開講座」を開催しております。

詳細は次頁以降参照(日本防災士機構ホームページより)。

事業費: 当事業の寄附金使用総額 115,969円

寄 附 金:平成28年度寄附金繰 越 額 272,043円 平成29年度受取寄附金総額 3,773,200円

列島縱断「防災·減災公開講座」開催 in 仙台



平成29年9月7日、仙台市、仙台国際ホテル2階 平成において「防災・減災公開 講座in仙台」を実施致しました。

講座では、「予知の困難な地震災害への対応」や「頻発する集中豪雨への対応」など、また東日本大震災の津波被害を繰り返さないための知見を中心として、災害時等における、防災士の活動の重要性について講話をされました。

事例発表では、3名の発表者の方から「東日本大震災の経験について」、「支部の活動事例」や「ゲームを通して楽しく防災・減災を学ぶゲーム教室」の事例などが紹介されました。

参加者数は337人で、仙台市民の方々をはじめ、平時や災害時において情報伝達と 救援物資等物流の拠点になることが期待される郵便局長、市内はじめ県内各地の防災 士など多数の参加者により盛況裡に講座を終了しました。



進行校 集出典子研究士会みやが副司事員



重工解使用我运会预计



例父士会みのぎ臭け



公開講座協会会場会量



列島級断 防災·減災公開講座 in 伽台 2017.9.7



英藤田秀和子大学名誉教授



坐忙墙景



田中勢子 研究士会みやぎ男支部推



数式 数型主角外やぎ程準



京株 大 田子県・向ケ崎部保持長



会場・協会関節ホテル



関係状態 支援者を影響を対する会長 即対立会からが管理を大理事